施工説明書

小型電気温水器（自動水栓セット）

EHMN-CA6S1-AM90(100V)／EHMN-CA6S1-AM91(100V)
EHMN-CA6S2-AM121C(100V)／EHMN-CA6S2-AM121(100V)
EHMN-CA6S3-AM123C(100V)／EHMN-CA6S3-AM123(100V)

商品の機能が十分発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
この説明書は、施工完了後、お客さまにお渡しください。
また定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

P-0077-2

■施工時には必ずお守りください。
以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。
この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。
マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

施工の用語の説明

⚠警告　作業を誤った場合に、設置作業者が、又は設置工事の不具合によって人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠注意　施工を誤った場合に、人が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

記号の説明

⚠「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

「必ずアース接続をしなさい！」

⚠警告

○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
※感電や火災の原因となります。

○電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

○屋外には設置しないでください。
○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
※故障や感電の原因となります。

○機器用に設置するコンセントは「アースターミナル付接地極付コンセント」をご使用ください。※故障や漏電時に感電・火災の恐れがあります。

○アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等にしたがって、必ず「法的有資格者（電気工事士）」による D 種接地工事（100Ω以下）を行ってください。また漏電遮断器を設置してください。
※故障や漏電時に感電のおそれがあります。

○この機器は AC100V　700W の電力を消費します。
必ず適した配線をしてください。また、200V に接続しないでください。
※火災の原因となります。

○水道水（水道事業体が供給する上水）以外の水を使用しないでください。
※早期に機器が破損したり、漏水したりするおそれがあります。

⚠注意

○機器内のタンクが満水になっていない場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。※機器の破損やヤケドの恐れがあります

○機器を横にしたり、上下を逆さにしたりした状態で設置しないでください。
○車両や船舶内に設置しないでください。
※機器の故障、ヤケド、漏電、漏水のおそれがあります。

○この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。
※機器が破損し、漏水のおそれがあります。

○飲用や調理への使用は避けてください。
※場合によっては体調をくずすおそれがあります。

○この機器は、給水圧力 0.07～0.75MPa の範囲でご使用ください。
※水圧が高い地域に設置した場合、機器の破損や漏水のおそれがあります。

○膨張水口からの膨張水排水ホースは、確実に配管施工してください。
※漏水のおそれがあります。

○水栓への接続は 1 ヵ所だけにしてください。2 ヵ所以上に接続しないでください。
※水栓から湯が出なかったり、著しく出が悪くなったりするおそれがあります。

○この機器の周囲温度が氷点下になるところには設置できません。
※機器やホースが凍結すると部品が破損し、漏水のおそれがあります。

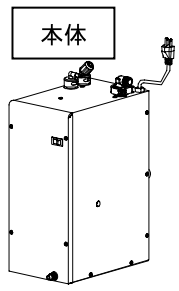
1. 仕様

本体品番		EHMN-CA6S1	EHMN-CA6S2	EHMN-CA6S3
外形寸法（幅×奥行×高さ）		182mm×327mm×430mm（突出部含む）		
質量		本体 6.3 kg（満水時 12.3 kg）		
使用水圧範囲		0.07（流動圧）～0.75MPa（静水圧）		
電源コード		有効長さ 1.0m　接地極付タイプ		
電気定格	定格電圧	AC100V　50/60Hz		
	消費電力	本体：700W 水栓：1.3W（待機時） ：4W 以下（使用時）	本体：700W 水栓：1W 以下（待機時） ：4W 以下（使用時）	
タンク容量		約 6L		
出湯温度		約 36℃（33～40℃）		湯側：36℃（33～40℃） 水側：給水温度
わきあがり時間		約 33 分　※水温 15℃時		
発熱体構造		シーズヒーター		
自動温度調節器		バイメタル方式（自動復帰式）		
温度過昇防止器		バイメタル方式（手動復帰式）		
使用可能雰囲気温度		0～40℃（ただし凍結しないこと）		
感知方式		測距式赤外線センサー	光量式赤外線センサー	
感知距離/感知幅		約 130mm/約φ10mm	約 125mm/約φ10mm	

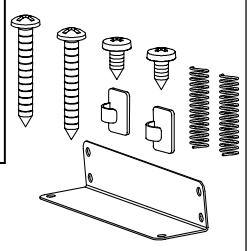
2. 同梱品一覧

■施工前に同梱部品を確認してください。

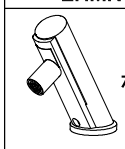
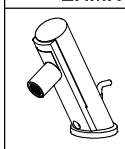
共通部品



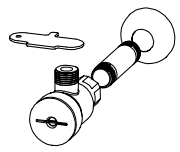
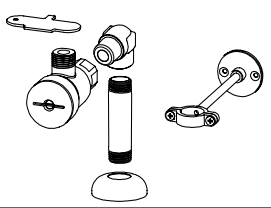
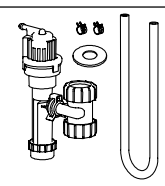
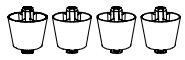
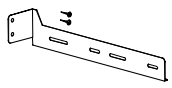
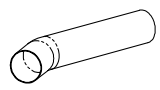
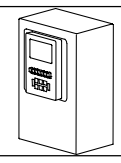
固定金具（床・壁固定用）：1 個
固定用ねじ A（4×20）：2 本
固定用ねじ B（4×10）：2 本
コード止め：2 個
スプリング：2 本
施工チラシ：1 枚



専用吐水口部

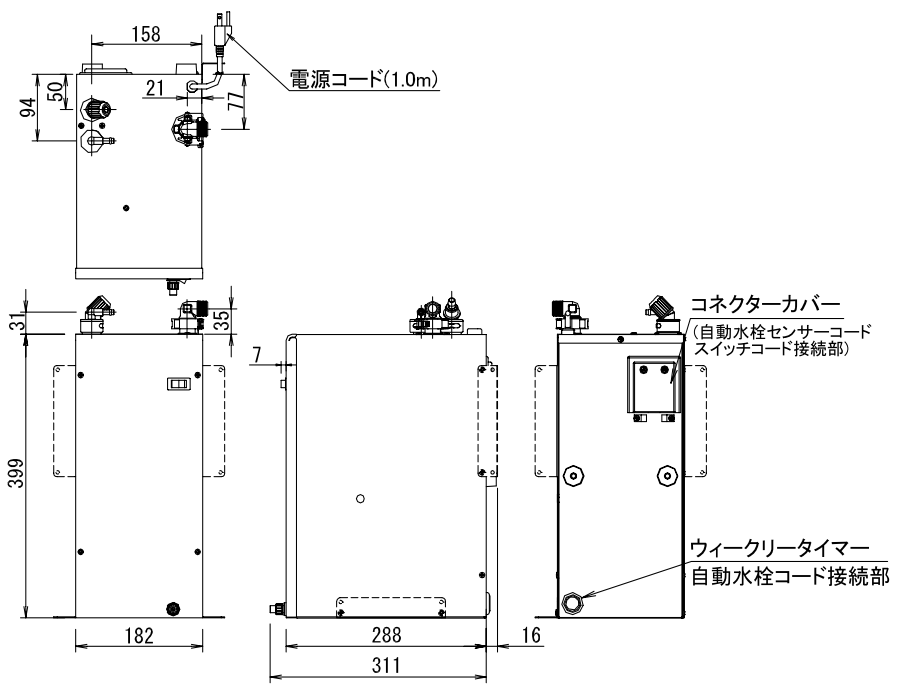
EHMN-CA6S1-AM90(100V)	EHMN-CA6S2-AM121C(100V)	EHMN-CA6S3-AM123C(100V)
 ポップアップなし	ポップアップなし 手動スイッチ付	ポップアップなし 手動スイッチ付 湯水切替スイッチ付
EHMN-CA6S1-AM91(100V)	**EHMN-CA6S2-AM121(100V)**	**EHMN-CA6S3-AM123(100V)**
 ポップアップ付	ポップアップ付 手動スイッチ付	ポップアップ付 手動スイッチ付 湯水切替スイッチ付

3. 別売部品一覧　★は必要別売部品

品名	品番	備考	外観概略
☆フィルター付止水栓	ELF-3EK	壁給水用	壁給水用  床給水用 
	ELF-3SEK	床給水用	
☆排水器具	EFH-4/PT EFH-4	カウンター用 （/PT はグレー色）	 膨張水排水ホース（φ7×500mm）入り ※図は EFH-4/PT
	EFH-4-25 /PT	φ25 排水管 対応用	
膨張水排水ホース	EFH-1M	内径φ7mm×1m	排水器具に同梱されているホースは長さ 500mm です。長さが足りない場合に手配してください。 ホースバンドは、排水器具に同梱のものをご使用ください。
固定脚	EFH-DA1	カウンター下など床上に直接施工する場合に使用	 4 本入り
固定金具	EFH-KK1	カウンター下に壁から離して設置する場合に使用	 固定用ネジ（4×20）2 本入り
排水曲り管（φ32mm）	EFH-HM1	排水芯から壁面までの距離が短い場合に使用できます。（P トラップ用）	【設置条件】 洗面器排水芯から壁面の距離 ・EFH-HM1：140～223mm ・EFH-HM1-25：160～233mm
排水曲り管（φ25mm）	EFH-HM1-25		
ウィークリータイマー	EFH-TM3	電気温水器へ通電する時間を設定する場合に使用	

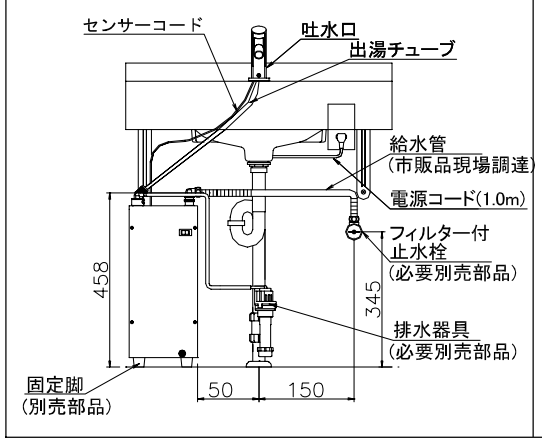
その他現場での調達品
・ステンレスフレキシブル管（1/2B、呼び径 13mm）、1/2B パッキン

4. 寸法図

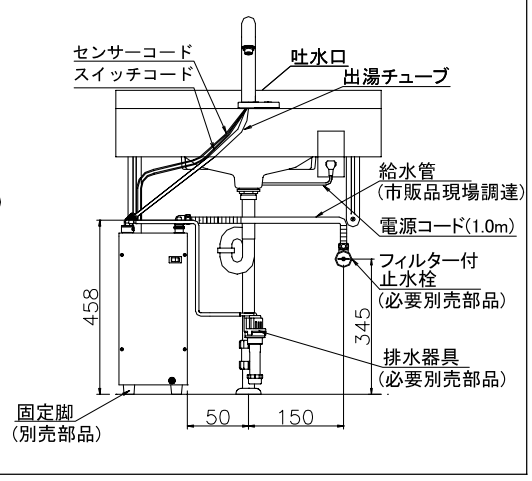


5. 標準施工図例

1.EHMN-CA6S1 の場合



2.EHMN-CA6S2、EHMN-CA6S3 の場合



6. 取付け手順

※電気温水器を取り付ける前に、洗面器やカウンターをそれぞれの施工説明書にしたがって取り付けてください。

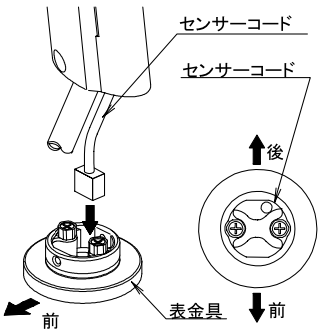
6－1. 専用吐水口部の取り付け

■EHMN-CA6S1-AM90(100V)
EHMN-CA6S1-AM91(100V)の場合

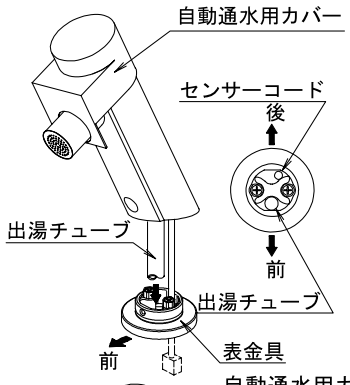
〇タンクへの給水が完了するまで、自動通水用カバーを外さないでください。
※空焚きとなりヤケド・故障のおそれがあります。

(1)上部施工金具の取り付け
上部施工金具に同梱の「クイックワン施工説明書」に従い、正しく取り付けます。

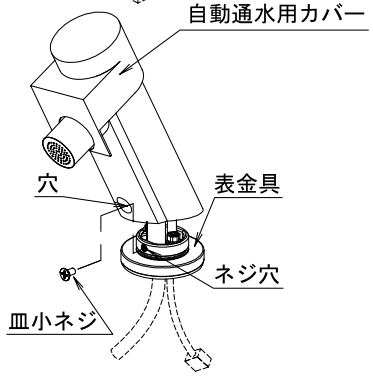
(2)専用吐水口部の取り付け
①センサーコードを表金具後部に挿入します。



②出湯チューブを表金具前部に挿入します。

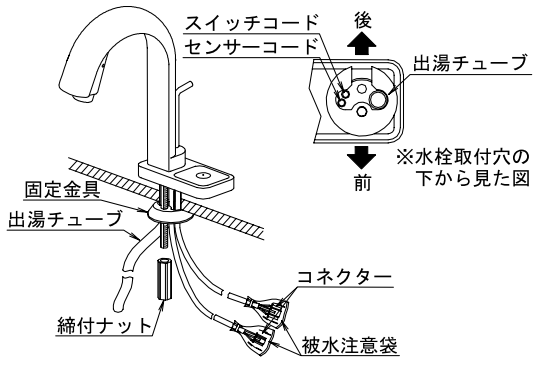


③専用吐水口部本体を表金具に差し込みます。
④専用吐水口部本体に穴と表金具のネジ穴がそろっていることを確認した上で専用吐水口部本体を付属の皿小ネジでしっかりと固定します。
※専用吐水口部本体にガタつきがないことを確認してください。



■EHMN-CA6S2-AM121C(100V)/EHMN-CA6S2-AM121(100V)/
EHMN-CA6S3-AM123C(100V)/EHMN-CA6S3-AM123(100V)の場合

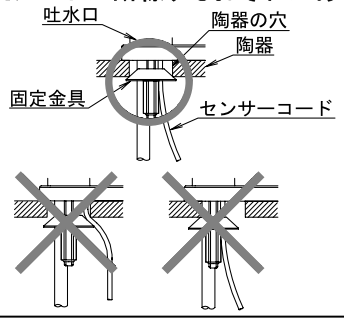
①専用吐水口部を水栓取付穴に挿入し出湯チューブ、コード類の位置を確認して、固定金具、締付ナットを取り付け仮固定します。

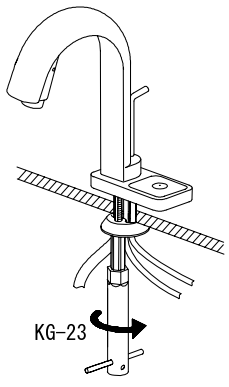


〇出湯チューブ・コード類を必ず指定位置に通してください。
※ポップアップ棒が通らない、あるいは重くなるおそれがあります。
〇コネクターの被水注意袋は、本体に接続するまで取り外さないでください。
※コネクターが傷つき、故障の原因になります。

②水栓取付穴にはまるまで固定金具を押し込んでから専用工具「KG-23」もしくは市販のソケットレンチ(呼び 13)を使って締付ナットを締め付けます。

〇コードを固定金具と陶器の間にはさまないでください。
※コードが断線するおそれがあります。

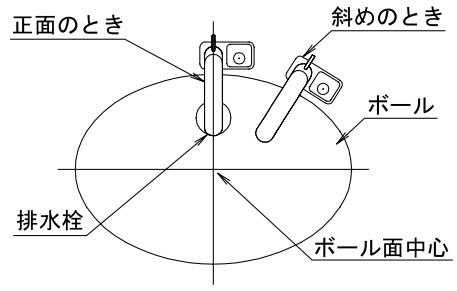




③専用吐水口部先端をボールの中心に向け、しっかり固定します。

〇取付方向が適切な位置にしてください。

〇取付可能洗面器以外には取り付けないでください。
※ボール面を感知して誤動作するおそれがあります。



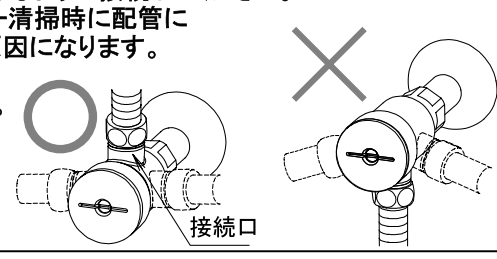
※L-275 との組合せ時は、専用吐水口部先端が排水栓に向かないように取り付けてください。
※ボール面を感知して誤動作するおそれがあります。

6－2. フィルター付止水栓の取り付け

給水管にフィルター付止水栓(必要別売部品)を取り付けます。

〇必ずフィルター付止水栓を取り付けてください。
※機器内にゴミが入り、故障の原因になります。
〇接続口が上向きまたは横向きになるように接続してください。
※下向きに取り付けるとフィルター清掃時に配管にゴミが入り、機器が故障する原因になります。

〇給湯配管に使用しないでください。
(給水配管専用です)
※故障の原因になります。



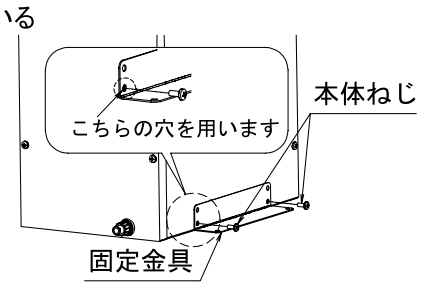
6－3. 排水金具の取り付け

ポップアップ式排水金具に付属の施工説明書を参照の上、排水栓側のキック棒と専用吐水口部のポップアップ引き棒を接続します。

6－4. 固定金具および固定脚(カウンター下設置の場合のみ)の取り付け

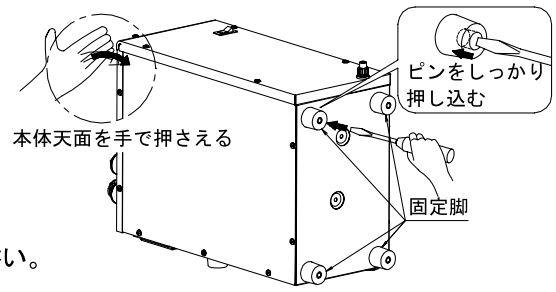
機器に固定金具を取り付けます。機器本体に取り付いているねじを一度外し、そのねじを使用して取り付けます。

(A)キャビネットに取り付ける場合(床固定します)
機器下部のねじを使用し、固定金具を本体ねじで共締めします。

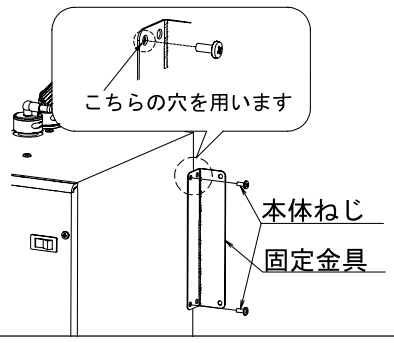
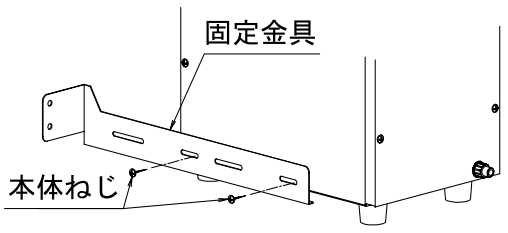


(B)カウンター下に取り付ける場合(壁固定します)
【固定脚(EFH-DA1、別売品)の取付け】
カウンター下に取り付ける場合は、固定脚(EFH-DA1、別売品)を別途ご用意ください。
①梱包の上など機器を寝かせます。
※ダンボール等を下に敷いて、本体に傷がつかないように扱ってください。

②機器底面の穴に固定脚を差し込み、ドライバー等で固定脚中心部のピンをしっかり押し込みます。
※穴の内側にパッキンを貼り付けていますが、そのまま打ち込んでください。

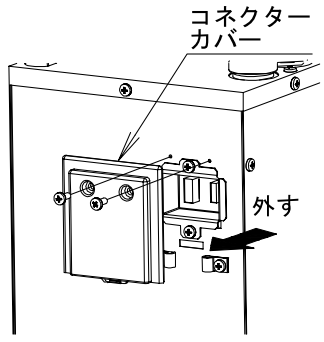


【固定金具の取付け】

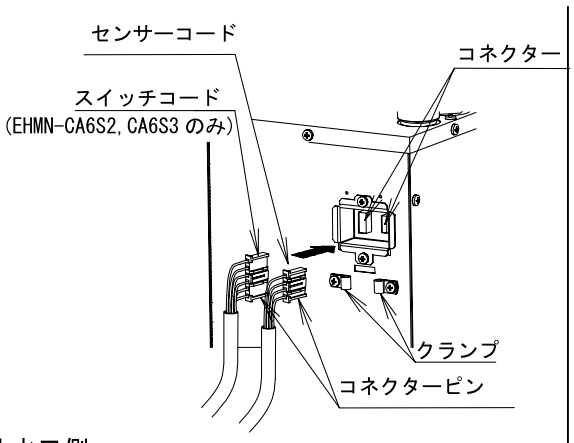
壁面に直接固定する場合	配管等があり、壁面に直接固定できない場合
機器側面のねじを使用し、固定金具を本体ねじで共締めします。	機器側面下部のねじを使用して固定金具(EFH-KK1、別売品)を本体ねじで共締めします。
	

6－5. センサーコード・スイッチコードの接続

①機器本体裏面のコネクターカバーを取り外します。



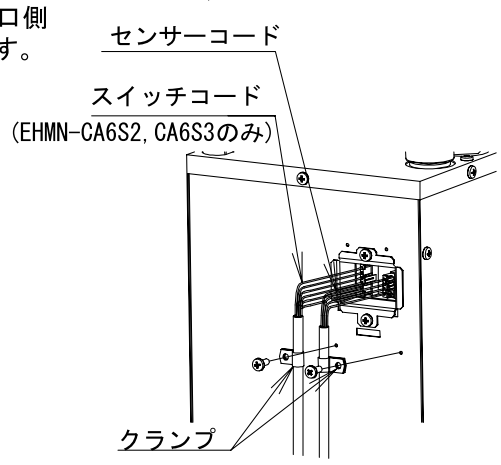
②機器側のコネクターへ吐水口側の
センサーコード(・スイッチコード)
のコネクターピンを接続します。



ポイント

コネクターはカチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

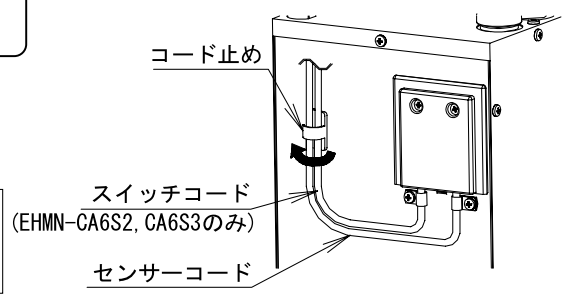
③機器本体裏面のクランプを取り外し、吐水口側
のセンサーコード(・スイッチコード)を通します。
④クランプを元の位置に固定します



⑤取り外したときと逆の手順で、コネクター
カバーを本体裏面へ取り付けます。

〇コネクターカバーは確実に取り付けてください。
※火災や感電の原因になります。

⑥付属のコード止めにて、センサーコード
(・スイッチコード)を機器本体の背面に止めます。



ポイント

機器背面のコネクターカバーにコードがあたらないようにコード止めを貼り付けてください。

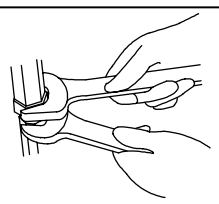
⑦ウィークリータイマー(EFH-TM3、別売品)を取り付ける場合
ウィークリータイマー(EFH-TM3、別売品)を取り付ける場合は、「9. ウィークリータイマー(EFH-TM3、別売品)の取り付け」にしたがい、取り付けてください。

6－6. 機器への配管

機器への配管は、市販のステンレスフレキシブル管(1/2B:呼び径 13mm)を使用してください。

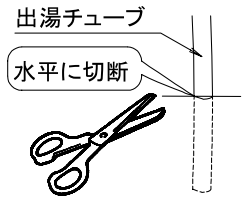
〇この機器は 0.75MPa を越える高水圧地域では使用しないでください。
※機器が破損し、漏水のおそれがあります。

〇ステンレスフレキシブル管の接続は必ずスパナ 2 丁使用するなどして、取り付ける相手の機器に無理な力がかからないよう注意して接続してください。
また接続部には、必ずシートパッキンを使用して接続してください。
※漏水のおそれがあります。
〇機器を接続する前に、20L 程度水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。
※機器にゴミが侵入、故障のおそれがあります。



※機器を接続する前に、配管の漏水・耐圧検査を実施してください。

①出湯チューブが折れ曲がらないように
必要な長さを確認し、切断します。

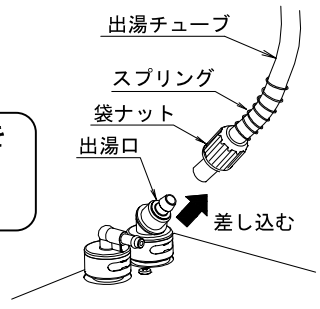


ポイント

出湯チューブは水平に切断してください。

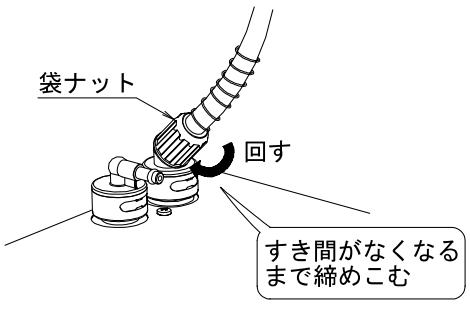
〇出湯チューブを出湯口から外す場合、カッターは使用しないでください。
※テーパー部をキズつけ、漏水の原因になります。

②出湯チューブに付属のスプリング(2本)を通した後、
袋ナットを通してから出湯口のテーパー部に
差し込みます。

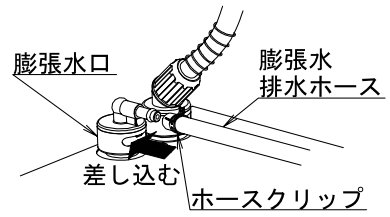


〇出湯チューブが折れ曲がらないよう、付属のスプリングを必ず取り付けてください。
※漏水の原因となります。

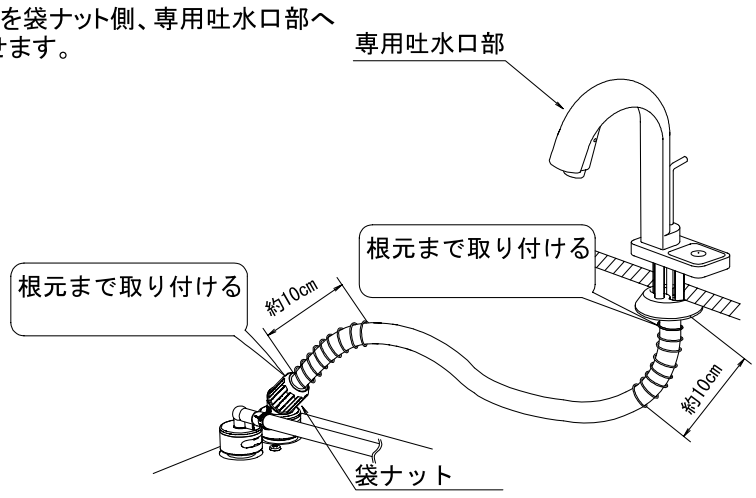
③出湯チューブを出湯口テーパー部に差し込み、
袋ナットを手締めで締め付けます。



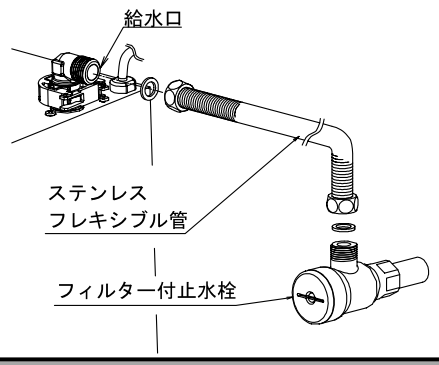
④膨張水口に膨張水排水ホースを差し込み、
付属のホースクリップで固定します。
※別売の排水器具に付属しています。



⑤スプリングの位置を袋ナット側、専用吐水口部へ
それぞれ移動させます。



⑥止水栓と機器の給水口とをステンレス
フレキシブル管にて接続します。

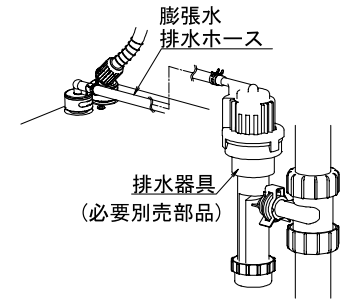


6－7. 膨張水排水ホースの接続

〇膨張水排水ホースは確実に配管施工してください。
※漏水のおそれがあります。

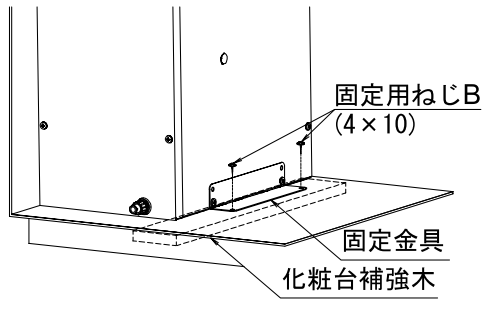
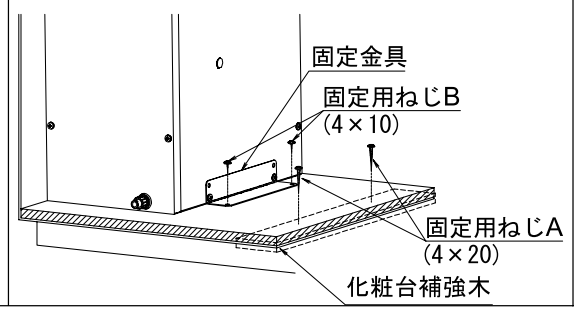
※別売の排水器具を準備してください。

排水器具に付属の施工説明書にしたがい、
排水器具及び膨張水排水ホースの接続をします。
※排水器具に付属の排水ホースが膨張水口から排水器具まで届かない場合は別売のホース(EFH-1M、内径 φ7×1m)を使用してください。
※膨張水排水ホースの長さは 1m 以内としてください。
※排水器具のホースの接続口が逃し弁より高い位置にあっても膨張水の排水に影響ありません。

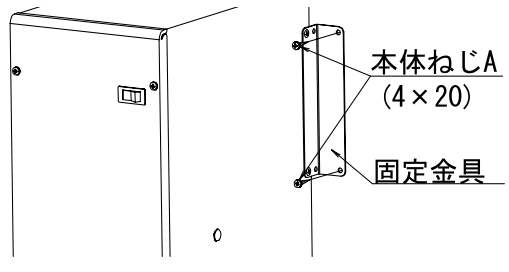
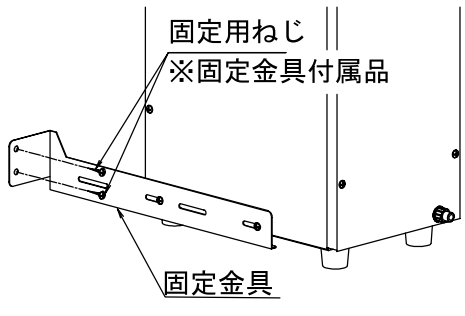


6－8. 機器への固定

(A)キャビネットに取り付ける場合(床固定をします)
化粧台底板の補強木の位置を確認します。

固定金具の下に補強木がある場合	固定金具の下に補強木がない場合
付属の固定用ねじで固定します。	底板の上に取付板(9mm)を別途準備し固定用ねじで固定します。
	

(B)カウンター下に取り付ける場合(壁固定をします)
※固定前に取付面の強度を確認してください。

壁面に直接固定する場合	配管等があり、壁面に直接固定できない場合
付属の固定用ねじで固定します。	固定金具(EFH-KK1)に付属のねじで固定します。
	

7. 電気工事

○漏電遮断器を必ず設置してください。
○必ずアースを接続してください。
※火災や故障のおそれがあります。
○アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等にしたがって、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。
※故障や漏電時に感電のおそれがあります。
○200Vには接続しないでください。
※火災や故障のおそれがあります。
○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。

①機器より有効長さ 1.0m 以内の所に、本機器専用の 100V・15A の「接地極付コンセント」を用意します。
②コンセントに D 種接地工事を行います。

○接地極のないコンセントに接続しないでください。
接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
※故障や漏電時に感電・火災のおそれがあります。

EHMN-CA6S1／CA6S2／CA6S3 は 100V/700W の電力を消費します。

8. 施工後の確認・処置

確認後、取扱説明書、施工説明書とともに止水栓の開閉工具をお客様にお渡しください。

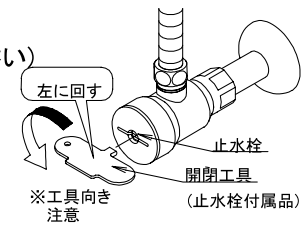
8-1. 膨張水排水ホースの確認

機器の取付けが完了しましたら、以下の点を確認することにより、必ず膨張水排水ホースの配管が行われていることを確認します。
①専用の排水器具が取り付けられていること。
②排水器具が目視で垂直に取り付けられていること。
③排水器具と機器の膨張水口とが確実に接続されていること。

○膨張水口からの膨張水排水ホースの施工が行われているか確認してください。
※漏水のおそれがあります。

8-2. 通水確認・タンクへの給水操作

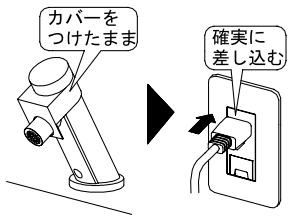
①給水配管・出湯チューブが確実に接続されていることを確認します。
②給水配管のゴミを取る作業(「6-6.機器への配管」をご参照ください)を行ったか再度確認します。ゴミをまだ取っていない場合は、いったん機器を取り外し、水を流して確実に配管内のゴミを取り除いてください。
※ゴミが残っていると、機器にゴミが侵入し、故障の原因となります。
③開閉工具(止水栓付属品)を用いて止水栓を開けます。



■EHMN-CA6S1 の場合
(1)専用吐水口部に、**自動通水用カバーを取り付いていること、**電源スイッチが「切」の状態になっていることを確認します。
※センサーコードがしっかり接続されているか確認してください。
※止水栓が開いているか確認してください。
※給水工事がなされていない等、通水できない状態の場合は、自動通水用カバーを外さないでください。

タンクへの給水操作が完了するまで、絶対に電源スイッチを「入」にしないでください。
※ヤケド・故障のおそれがあります。

(2)専用吐水口部に自動通水用カバーを取付けた状態で電源プラグを差し込むと自動で 10 分間通水します。
(カバーが手をかざしているのと同様の役目を果たします。)
●しばらくすると空気を巻き込みながら、吐水口から断続的に水が出ます。専用吐水口部に取り付いている自動通水用カバーは、**10 分間の通水が完了するまで外さないでください。**
●**必ず洗面器の排水栓は開いた状態**にしてください。
通水時に、洗面器からの**水あふれ等が無いか、常に通水状態を確認**してください。
※漏水のおそれがあります。
※万が一洗面器から水があふれた場合は、電源プラグをコンセントから抜き、漏水の対処をしてください。その後、再度上記(1)の作業を必ず行ってください。



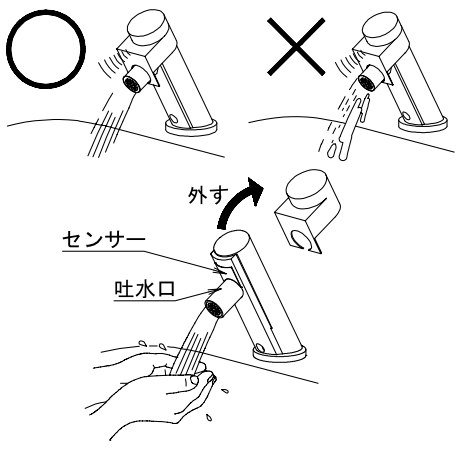
ポイント
水の出方が安定するまで通水を続けてください。
約 10 分間通水が続くと、自動で止水します。
※自動で止水するまで、自動通水用カバーを外さないでください。

(3)水の出方が安定したら満水の状態となり、タンクへの給水操作が完了となります。
自動で止水したら、自動通水用カバーを取り外し、**必ず吐水口に手をかざして**水の出方が安定しているか再度確認します。

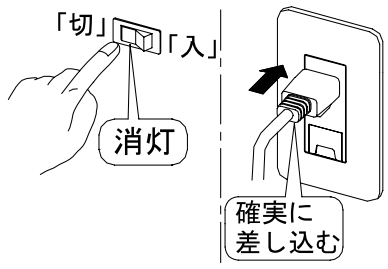
ポイント
センサーに手をかざしても通水しない場合は、センサーコードがしっかり接続されているか確認してください。

ポイント
節水のため定流量弁を内蔵していますので、一定以上の流量は出ません。
※EHMN-CA6S1:3L/分以下

【安定している状態】 【安定してない状態】

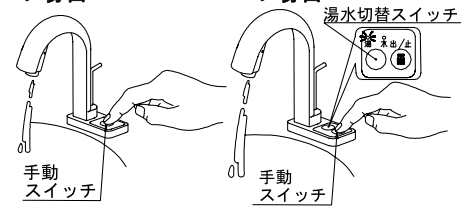


■EHMN-CA6S2、EHMN-CA6S3 の場合
(1)電源スイッチが「切」の状態を確認してから、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。



必ず機器内のタンクを満水にしてから、電源スイッチを「入」にしてください。
※機器の破損や、ヤケドのおそれがあります。

(2)EHMN-CA6S3 の場合は水栓の湯水切替スイッチの湯側が点灯していることを確認してください。
点灯してない場合は湯水切替スイッチを押して湯側に切り替えてください。
※湯側で吐水を行わないと機器に給水されず空だきの原因となります。
(3)手動スイッチを 6 秒間以上長押しします。
(4)連続吐水モードとなり、タンクへの給水が自動で行われます。
空気を巻き込みながら、吐水口から断続的に水が出ます。



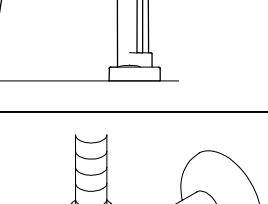
ポイント
タンクが満水になるまで約 6 分かかります。
水の出方が安定するまで通水を続けてください。
約 10 分間吐水が続くと、自動で止水します。

ポイント
センサーに手をかざしても通水しない場合は、センサーコード(・スイッチコード)がしっかり接続されているか確認してください。

(3)水の出方が安定したら満水の状態となり、タンクへの給水操作が完了となります。
必ず吐水口に手をかざして水の出方が安定しているか再度確認します。

ポイント
節水のため定流量弁を内蔵していますので、一定以上の流量は出ません。
※EHMN-CA6S2、EHMN-CA6S3:5L/分以下

【安定している状態】

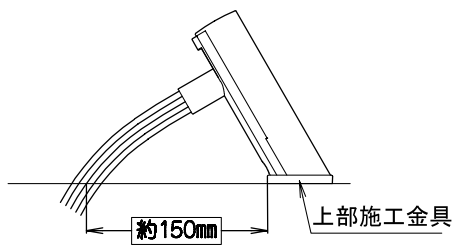


【安定してない状態】

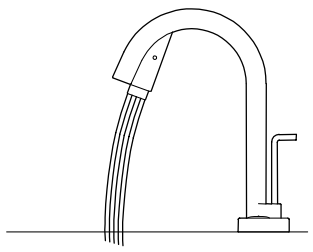
8−3. 流量の確認

低圧の現場で流量が不足する場合は、以下の手順で定流量弁を取り外して、止水栓にて流量調整を行います。

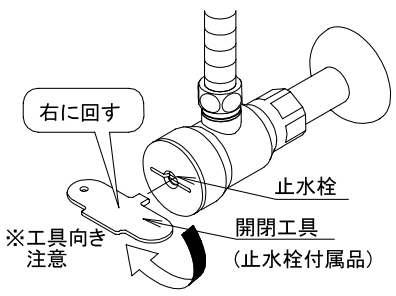
●流量の目安
【EHMN-CA6S1】
吐水位置が上部施工金具前面より吐水中心まで距離が約 150mm



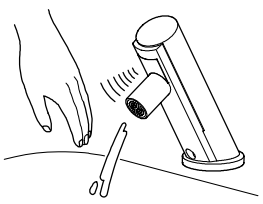
【EHMN-CA6S2/CA6S3】
1L の容器をいっぱいにするのに約 12 秒～22 秒



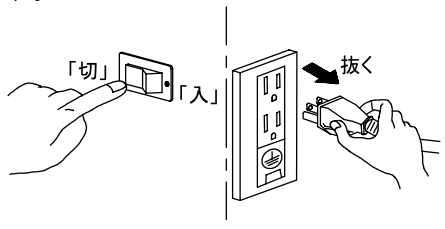
①開閉工具(止水栓付属品)を用いて止水栓を閉めます。



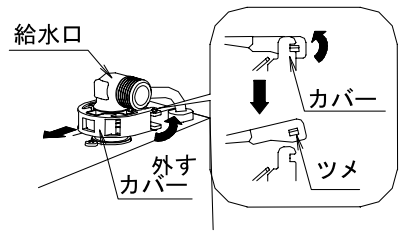
②吐水口部に手を差し出し、センサーを感知させ止水確認、圧抜きをします。



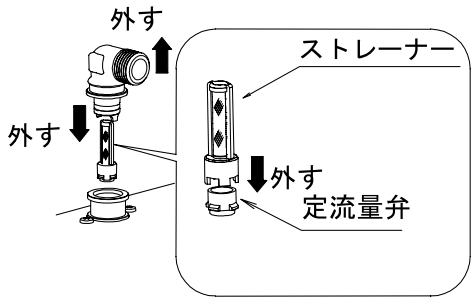
③電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜きます。



④給水口のカバーを取り外して、給水口を接続しているクリップを取り外します。



⑤給水口を取り外して、中のストレーナーを
取り外します。
⑥ストレーナー内の定流量弁を取り外します。
⑦取り外したときと逆の手順でストレーナー、
給水口、クリップ及びカバーを取り付けます。



ポイント

クリップ取付後に、1 回転させてクリップが確実に
取り付いていることを確認してください。

〇ストレーナーは必ず取り付けてください。
※故障の原因となります。

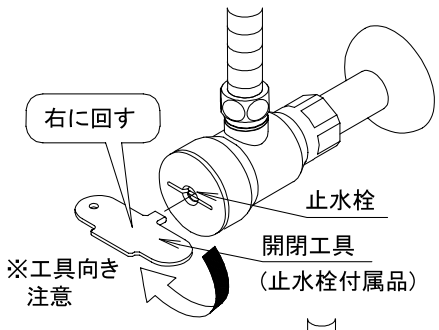
⑧電源プラグを差し込みます。
⑨止水栓を回して、上記「流量の目安」に流量を調整します。

8－4. フィルターの掃除

機器の設置初期に、配管内を流れてきたゴミがフィルターに詰まって
湯や水の出が悪くなることがあります。
通水確認後に、フィルターの掃除を行ってください。

①開閉工具（止水栓付属品）を用いて
止水栓を閉めます。

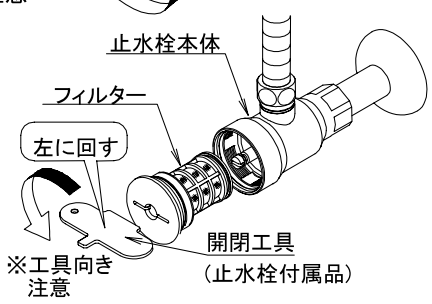
必ず止水栓を閉めてください。
※漏水の恐れがあります。



②開閉工具（止水栓付属品）を用いて
フィルターを取り外します。

ポイント

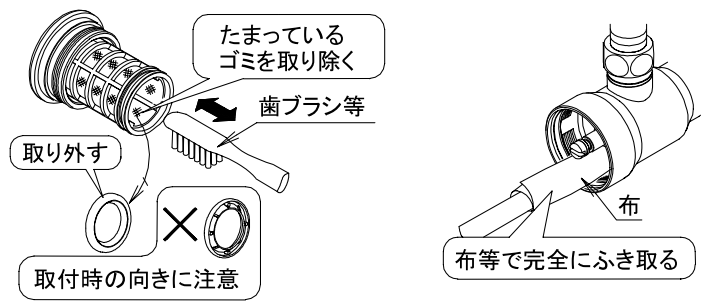
フィルターを取り外すと、止水栓から水がこ
ぼれます。
止水栓下部に洗面器等で水を受けて
ください。



フィルター部

本体部

③フィルターおよび止水栓を
清掃します。



④取外しと逆の手順で
フィルターを取り付けます。

8－5. ストレーナーのお掃除

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーのお掃除を行います。
①「8－3. 流量の確認」を参照して、給水口からストレーナーを取り外します。

外すときに少量の水がこぼれますので取外し部にタオル等をあてがいながら
ストレーナーを取り外してください。

②ストレーナーの網目に詰まったゴミを洗い流します。

ストレーナー内部に定流量弁が入っている場合は、定流量弁を紛失しないように
注意してください。

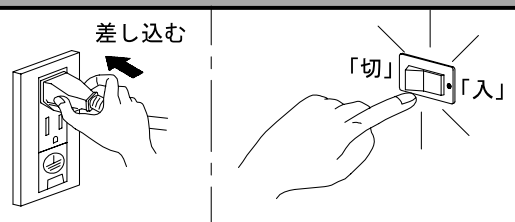
③取り外したときと逆の手順でストレーナー、給水口、クリップ及びカバーを取り付けます。

・クリップ取付後に、1 回転させて確実に取り付いていることを確認してください。
・定流量弁が取り外されている場合は、止水栓にて流量調整を行ってください。

〇クリップは確実に取り付けてください。
※漏水の原因となります。

8－6. 機器への通電

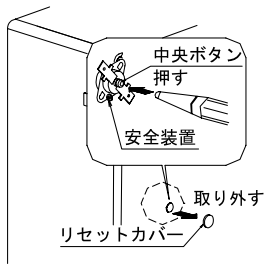
①満水になったことを確認し、電源プラグを
確実に差し込みます。
②電源スイッチを「入」にします。
スイッチ部が点灯します。



〇機器内の水が空の場合は、電源スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

【電源スイッチを「入」にしてもスイッチ部が点灯しない場合】

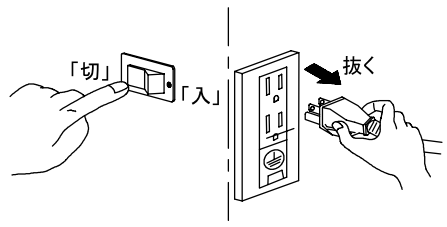
安全装置である過昇防止バイメタルが作動している
ことが考えられます。
一旦電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから
抜いた後、機器本体右側面のリセットカバーを取り外し、
ボールペンの端などで機器内にある安全装置の
中央ボタンを押し込んでください。



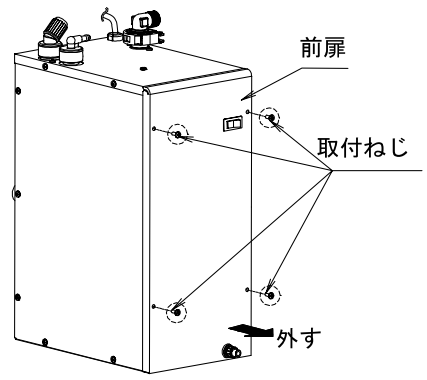
〇電源スイッチが「入」のままで、リセットカバーを
はずさないでください。
※感電の恐れがあります。

9. ウィークリータイマー(EFH-TM3、別売品)の取付け

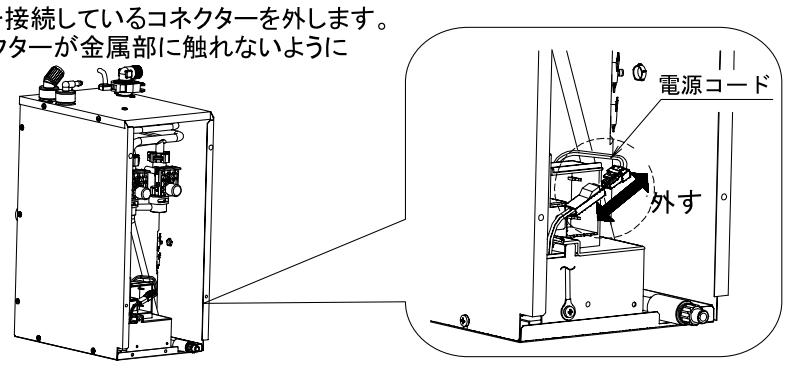
ウィークリータイマーの取付けは、付属の施工説明書を参照してください。
①電源スイッチを「切」にして、電源プラグを抜きます。



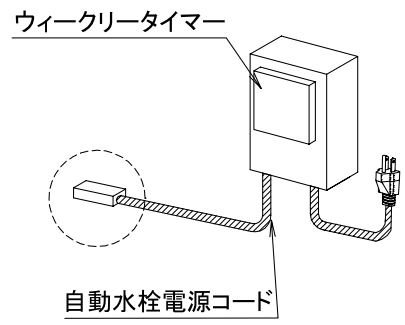
②機器の前扉を外します。
（取付ねじ 4 ヵ所を外します。）

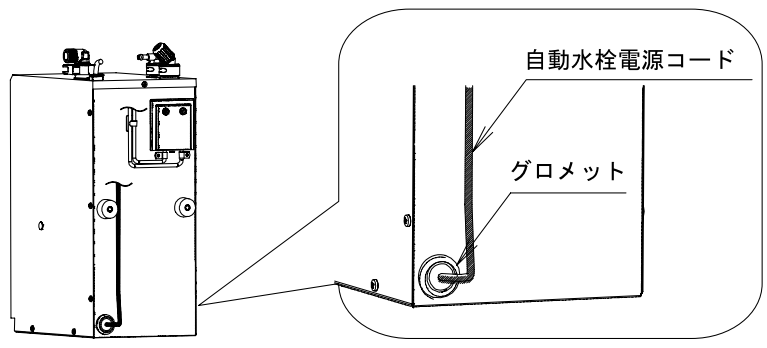


③電源コードと基板とを接続しているコネクターを外します。
電源コード側のコネクターが金属部に触れないように
してください。

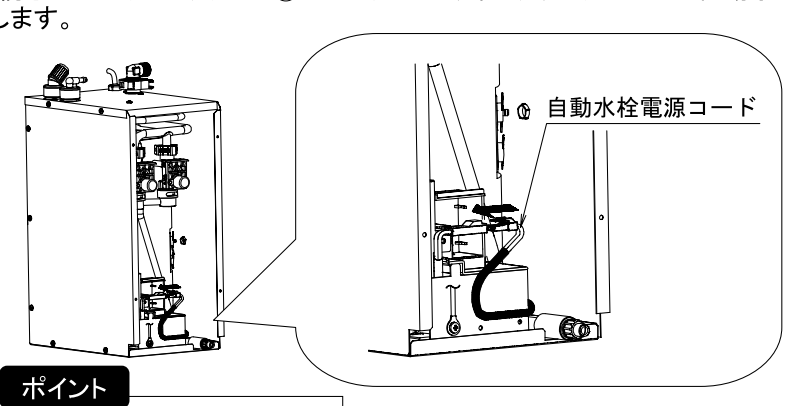


④電気温水器の背面下部にあるグロメットに、φ10mm 程度の穴をあけて
ウィークリータイマーの自動水栓電源コードを機器前方まで引き込みます。





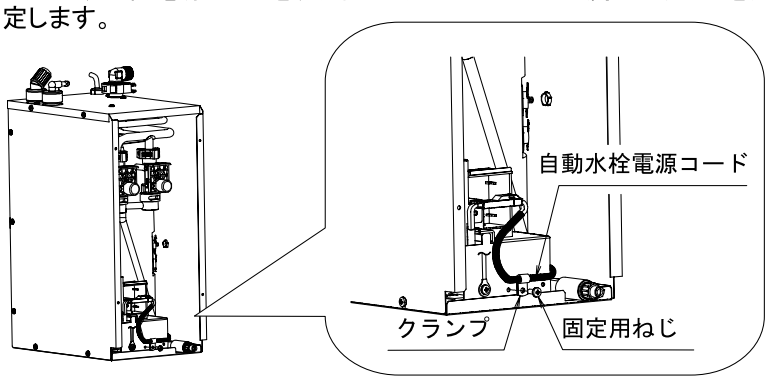
⑤③で外した基板に接続されているコネクターと④で引き込んだウィークリータイマーの自動水
栓電源コードを接続します。



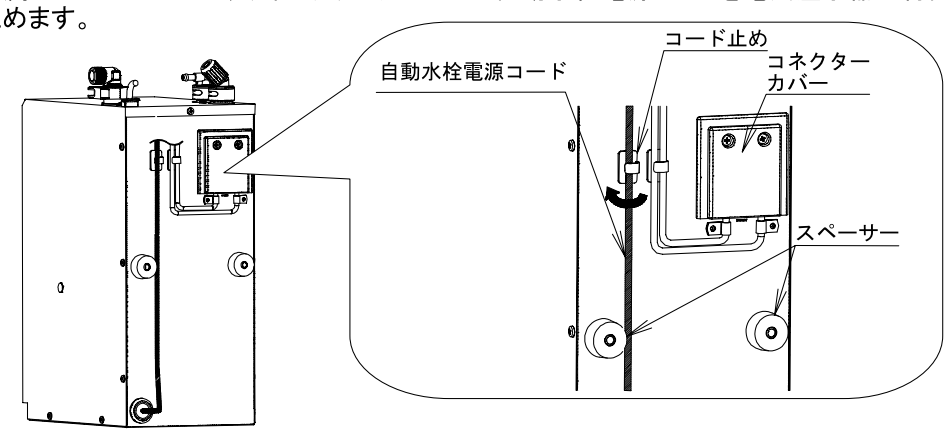
ポイント

コネクターはカチッと音がするまで、しっかり差し込んで
ください。

⑥ウィークリータイマーの自動水栓電源コードを、ウィークリータイマーに付属のクランプを用いて基板固定板に固定します。



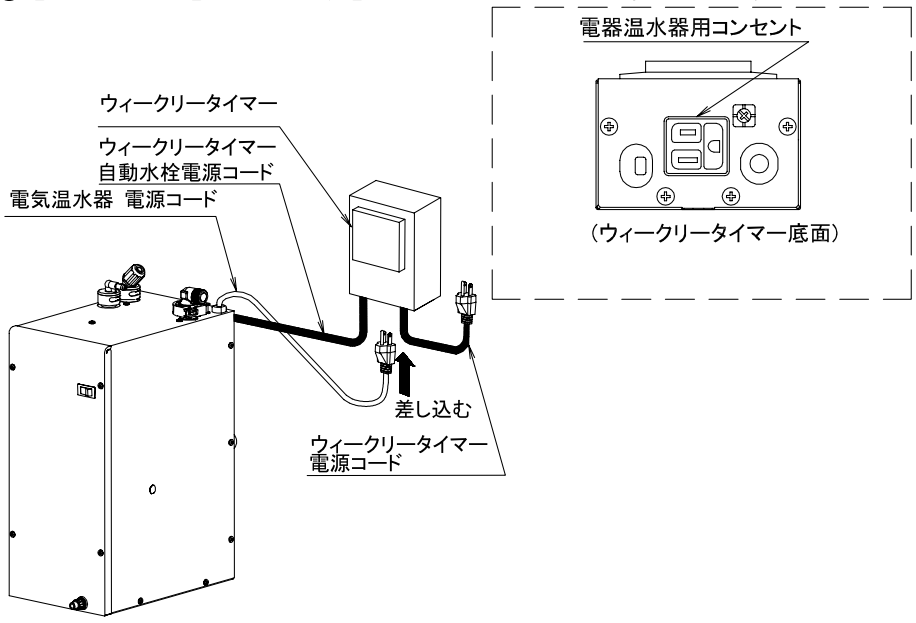
⑦付属のコード止めにて、ウィークリータイマーの自動水栓電源コードを電気温水器の背面に止めます。



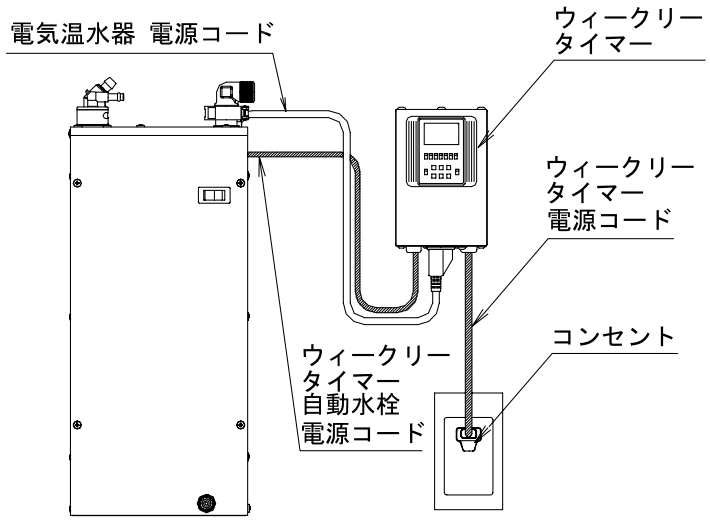
ポイント

スペーサーやコネクターカバーにコードが当たらないように、コード止めを貼り付けてください。

⑧取り外したときと逆の手順で、機器の前扉を取付けます。
⑨電気温水器の電源プラグを、電気温水器用コンセントに根元まで確実に差しこみます。



【配線完成図】



10. 施工後の最終確認

全ての作業が完了後、引き渡す前に、下記の表にて最終確認をしてください。

確認項目	確認内容	チェック欄
電源電圧	AC100V 電圧がコンセントに供給されているか	
止水栓	必要別売品の止水栓が施工されているか	
排水器具	必要別売品の排水器具が施工されているか	
漏水	配管接続部から漏水がないか	
保証書	必要な内容を記載したか	

確認後、取扱説明書、施工説明書とともに、止水栓の開閉金具をお客さまにお渡しください。

お問合せ先
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル　TEL0570-017173
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・年末年始・夏季休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP 電話などご利用できません。
TEL0562-31-0793 をご利用ください。